

たんぽぽだより

2021年 11 月号



10月中は運動会・遠足と保護者の皆様にはご参加いただきありがとうございました。運動会は、たんぽぽらしい笑顔が、いっぱいでした。

さてコロナ禍が始まって2年が経とうとしています。保護者の皆様は、子どもを育てる中で不安や心配が、たくさんあられると思います。

現在の状況は、今まで誰も経験したことが無い状況です、しかし、そんな時代が今の子ども達は当たり前なんです。先日保育士の研修に尾木ママが来られ講演を聞きました。そこで「今の子ども達はこの状況を受け入れ生き抜こうとする力が有るのだ」と言われました。

今日の前にいる子ども達は、ゼロから作り出していく力が有るのだと私は信じています。
ゼロから1に何かを作り出すには凄くパワーが要ります。たんぽぽの子ども達はパワーが有る子ども達です。その力を発揮できるようになるには保護者の皆様の力が重要です。

今、目の前にいる子ども達の自由な思いを受け止め共感してください。

それには、子どもの思いを汲み取ってあげれば十分です。ただし言う事を聞く事ではなく子どもさんの「〇〇したい(して欲しい)」という気持ちを、言葉にしてあげるだけです。

それだけで共感されたと感じます。ただし子どもの「〇〇したい(して欲しい)」は、新鮮さが大事です。**【今】**なんです。それが**根拠のない自信**になっていきます。それは『**認めてもらっている**』という安心感です。

ある企業では根拠のない自信のある人が活躍しているそうですよ。

でも一つ気をつけて欲しいのは、『**完璧じゃなくていい**』・『**頑張らなくていい**』という事です。家事も大事ですが、そこで完璧な親であろうとすれば、子どもにも完璧を求めてしまい、お互いに息苦しくなります。たんぽぽが大事にしている食事でも大事ですが、心の栄養の方が、はるかに大事なんです。尾木ママも言われてましたが子育て中は**「まあ良いか」**ぐらいのスタンスが良いそうです。

それが、子育てを楽しくする一番の秘訣です。

ご連絡

- ・肌着のシャツは、(着替えも) 半袖をお願いします。
- ・お昼寝中は、体温が下がります。厚めのお布団をお願いします。
- ・園庭に行ったり、お散歩したり外に出る事が多いので、自分で着脱しやすく、足に合った靴を履かせてください。
- ・8月～10月の苦情・ご提案はありませんでした。

保育サロン
たんぽぽ

今月の目標：秋を感じ 様々な遊びを通して丈夫な身体を作る。

つぼみ組【0歳児】：秋の心地良い気候の中でのびのびと身体を動かして遊ぶ。手づかみ食べを十分に行い、スプーン、フォークで食べることを楽しむ。伝い歩きや一人歩きで探索し歩くことを楽しむ。

もも組【1歳児】：ごっこ遊び等、言葉のやり取りを楽しみながら、保育者や友だちと関わり喜んで遊ぶ。秋の自然に親しみ、落ち葉や木の実などに興味を持ち、触れて遊ぶ。

ゆり組【2歳児】：秋の自然物に親しみ、さつまいもを収穫したり、落ち葉や木の実などを収集したりすることを楽しむ。保育者や友達と一緒にリズム遊びや劇遊び等で表現する楽しさを味わう。

11月の保育内容

養護

つぼみ組：目についたものに近づき見たり触ったりし、存分に探索して五感を育む。こどもが興味を示したものを一緒に見たり、指さしや喃語などに言葉を添えて応え、やり取りする楽しさを感じ、基本的信頼感を育む。

もも組：気候や体調の変化に配慮し、衣服の調節や休息をとり健康に過ごせるようにする。外出後や食事前、排泄後の手洗いは保育者と一緒にきれいにする気持ち良さを知らせ、清潔の習慣が身に付くようにしていく。欲求や甘えたい気持ちを受け止め、安定した気持ちで過ごせるようにする。

ゆり組：季節の変化に伴う気温差に留意しながら寒さの中でも健康に過ごせるようにする。子どもの自立心と大人への依存心の揺れをしっかりと受け止めひとり一人に向き合う。

教育

つぼみ組：食事中に眠くならないように、食事の時間を早めにしておなかがいっぱいになり、眠るというリズムを整えていく。食事を見ると指さして「マンマ」といい、喜んで手づかみ一人で食べようとする。他の子と同じ事をする事で関わり、やり取りを楽しむ。絵本を見ながら指をさし、「ブーブー」「ワンワン」など単語を話す。箱のふちに手をかけて中に入ったり、段ボールの箱を押したりして遊ぶ。戸外遊びでは秋の虫や草花に興味を持つ。

もも組：様々な食材に興味を持ち、自ら進んで食べてみようとする。保育者に手助けしてもらいながら、靴や靴下・帽子の着脱を自分でしようとする。友だちの遊びに興味を持ち、玩具のやり取りやごっこ遊びの中で関わりながら遊ぶ。落ち葉やどんぐりなどの自然物に親しみながら、戸外でのびのびと身体を動かして遊ぶ。ピアノに合わせて歌を歌ったり楽器に触れ、表現遊びを楽しむ。

ゆり組：食べこぼしに気をつけながら食事をする。手洗いやうがい衣服の着脱など身の回りのことを意欲的に行えるようにする。ごっこ遊びを通して友達とのやりとりを楽しむ。絵本などを通して劇遊びや模倣遊びを楽しむ。落ち葉や木の実などを見たり触れたりする中で色や形大きさなどに興味を持ちながら散歩を楽しむ。歌を歌ったりリズムに合わせて体を動かしたり、楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。